



防災学習「南海トラフ巨大地震発生 そのとき何が」

11月25日(月)、「ひろしま避難者の会 アスチカ」代表の三浦綾様をゲストティーチャーにお迎えし、「南海トラフ巨大地震発生 そのとき何が」をテーマに、防災学習を行いました。クイズや映像を交えながら、「大地震が発生した時どんなことが起こるのか、その後の生活にどんな困難があるのか」を考えることができました。



地震・津波を想定した避難訓練

11月26日(火)、地震・津波を想定した避難訓練を行いました。当日は、避難訓練の日時を生徒に周知せず、11時40分(授業合間の休憩時間)、警報音と「あと10秒で地震がきます」のアナウンス放送から、訓練を開始しました。今回は、最初の揺れが収まってから、第1避難場所へ移動中、強い揺れをともなった余震が発生する、という状況を想定しました。訓練の後には、体育館で防災担当職員による講義・演習で「地震発生時には普段生活している場所がどんな状態になるのか、その時、自分の命を守る行動は？」というテーマで学習し、学習後には地域の防災リーダーの皆様から、地域防災の取組等について話していただきました。



【「生徒の振り返り」より】

- ・少しびっくりした。実際に地震が起こった時は、こんな気持ちになるんだなと思い、恐ろしかったです。危険な場所を瞬時に判断して、自分の身を守る行動をとることが大切だと分かりました。
- ・予告なしの避難訓練だったので、最初のサイレンが鳴った時、びっくりして、とっさに机の下にもぐった。机の脚をしっかりとって避難した。2回目の揺れがきた時は廊下にいたが、海側の方が窓側より安全なので、海側にしゃがんで避難した。その後の集会で、シミュレーション動画を観た時、「自分の頭上だけでなく、(揺れで)移動してくる物にも気をつけなければいけない」ことが分かりました。
- ・先生が観せてくださった動画を通して、震度6でも窓ガラスが割れ、周りにある物は落ちてきたり倒れたりすることを初めて知りました。地域防災リーダーの三島さんや石田さんが話されていたように「地震が起きた時は、自分の命を必ず守る」を、これから大切にしていきたいです。

「呉工業高等専門学校による防災出前授業」(1月に実施予定)のお知らせ

1月9日(木)13:55~15:45、広南中学校体育館にて、呉工業高等専門学校の河村教授、学生の皆様に講師として防災出前授業(中1対象)を実施します。地域・保護者の皆様の見学も可能です。

スクールカウンセラー・カウンセリングのお知らせ(12月~2月)

12/20(金) 1/10(金) 1/17(金) 1/24(金) 2/14(金) 2/28(金)

※今年度は、2/28(金)が最後です。教頭、養護教諭、担任等にお気軽にお問合せください。



生徒会活動「服のチカラプロジェクト」

11月26日(火)、生徒朝会で「服のチカラプロジェクト」の報告会を行いました。プロジェクト始動時に実行委員会で話し合った内容、回収ボックスの洗浄、ポスターづくり、回収ボックス設置の依頼、「もくりんさんアート」制作作業、衣類の仕分け等の活動について実行委員が報告した後、「もくりんさんアート」を囲んで記念撮影をしました。放課後には、実行委員とボランティア生徒が、提出用段ボールに、子ども服を仕分けして詰めました。段ボールは11月28日(木)、無事に発送しました。

保護者・地域の皆様、子ども服とともに、たくさんの応援の気持ちを届けてくださり、ありがとうございました。



広地区(広南中学校区)一斉クリーン活動 ～住んでいる街を美しく！～

12月4日(水)、広地区(広南中学校区)一斉クリーン活動を行いました。この活動は、広地区の小中学生が同時刻に一斉に掃除を行うことにより、広地区・地域の連帯感と奉仕の精神を育もうとするものです。広南小・中の児童生徒が8グループに分かれ、長浜・小坪に出向きました。中学生がリーダーシップを発揮し小中学生が相互に協力して地域・保護者の皆様と一緒にしました。

